

株主・投資家のみなさまへ

# 第113期 第2四半期ビジネスレポート

2014年4月1日～2014年9月30日

証券コード: 6516

<http://www.sanyodenki.co.jp>

**SANYO DENKI**

# 113<sup>th</sup>



株主のみなさまには、ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。

第113期の第2四半期のビジネスレポートのお届けにあたりまして、ひとことごあいさつを申し上げます。

当社グループでは、世界中のお客さまに均一で高品質な製品やサービスをお届けすることを目的に、昨年度初頭より、グループ全体でグローバルな活動ができるような構造改革に着手いたしました。

さらに、このグローバル化の推進と営業体制の強化を目的として、世界中の営業拠点が独自に日本の山洋電気と同等の機能を果たせるように、拠点の「ミニ山洋電気」化を進めました。

具体的には、地域のニーズに合った独自の製品開発、サンプルの迅速な提供、きめ細やかなカスタマイズや

技術支援、メンテナンスや修理の迅速化などを目的としたテクニカルセンターを世界の各拠点に設立し、あわせて代理店網の構築や、最適な資材の現地調達、およびグループ全体の統一された会計制度や社内制度と人材育成を開始いたしました。

新製品の開発においては、後述のとおり、性能・省エネ・信頼性などで業界 No.1 を誇れる競争力のある多くの製品が、計画どおりに完成いたしました。

生産活動においては、SANYO DENKI PHILIPPINES, INC. の生産能力を高めるために第3工場を建設し、電源装置、ステッピングモータ、およびサーボモータの生産工場として、稼動を開始いたしました。

これらの活動により、当期の事業の結果は後述のとおりとなりました。

当第2四半期末の配当金につきましては、前年同期に比べて1株あたり1円増配し、8円といたしました。

株主のみなさまには、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

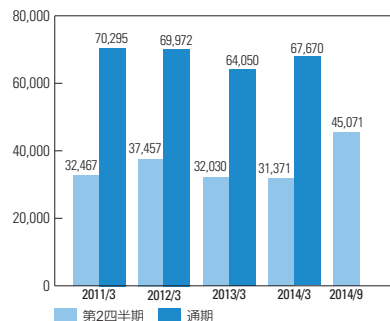
2014年12月

代表取締役兼社長 山本茂生

# 財務ハイライト

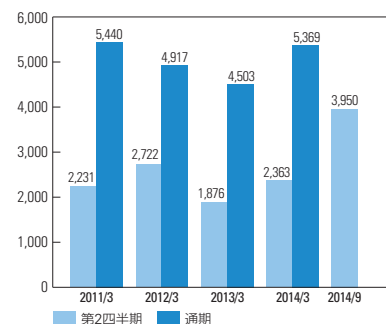
## ●売上高

(百万円)



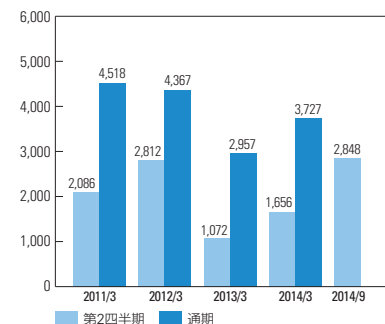
## ●経常利益

(百万円)



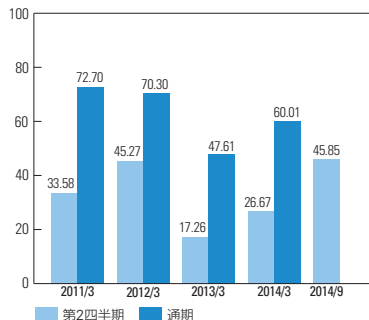
## ●当期純利益

(百万円)



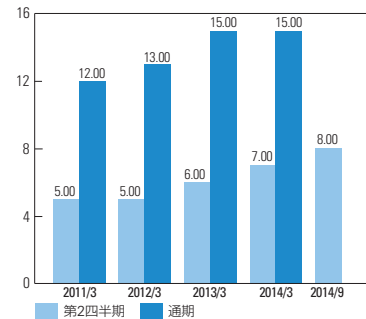
## ●1株当たり当期純利益

(円)



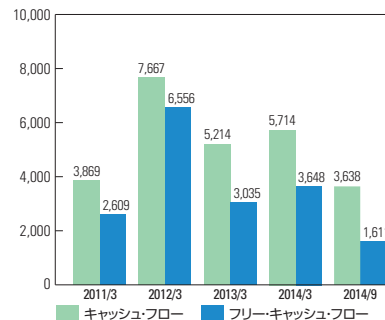
## ●1株当たり配当金

(円)



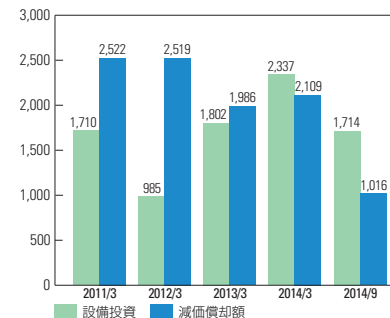
## ●キャッシュ・フロー/フリー・キャッシュ・フロー

(百万円)



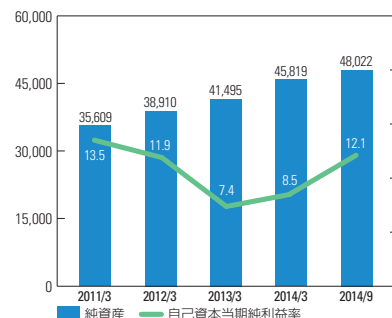
## ●設備投資/減価償却額

(百万円)



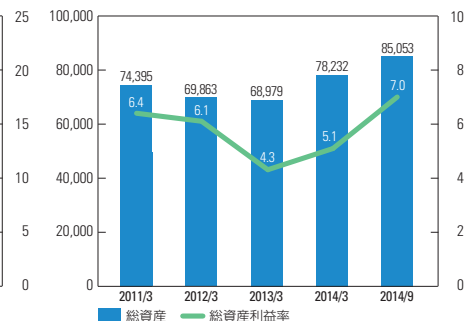
## ●純資産/自己資本当期純利益率

(百万円)



## ●総資産/総資産利益率

(%) (百万円)



※従来、連結財務諸表の作成にあたっては、海外連結子会社14社の3ヵ月前の財務諸表を使用し、連結会計上必要な調整を行っていましたが、連結財務諸表のより正確な把握を図るために、2015年3月期より海外連結子会社においても当社と同時期の財務諸表を使用する方法に変更しています。このため、当第2四半期実績には、海外連結子会社の2014年1月1日から同3月31日までの3ヵ月間の業績も含まれています。

## San Ace

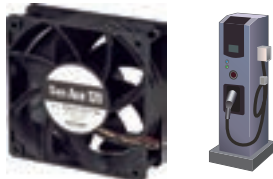
クーリングシステム製品

サンエースは、冷却ファン、ファンユニットなど、山洋電気のクーリングシステム製品を総称するブランドです。

例えば…電気自動車急速充電器の冷却で使用  
DC ファン

**San Ace 120 9GV** type

DC fan



## SANUPS

パワーシステム製品

サナップスは、太陽光発電用パワーコンディショナ、無停電電源装置 (UPS)、インバータ、エンジン発電装置など、山洋電気の電源システム製品を総称するブランドです。

例えば…通信機器の電源をバックアップ  
常時インバータ方式 UPS

**SANUPS A23C**

ON LINE UPS



## SANMOTION

サーボシステム製品

サンモーションは、サーボモータ・アンプ、ステッピングモータ・ドライバ、コントローラ、エンコーダなど、山洋電気のサーボシステム製品を総称するブランドです。

例えば…ロボットの関節軸に使用  
AC サーボシステム

**SANMOTION R**

AC SERVO SYSTEMS



### San Ace 高風量 長寿命ファン

#### ● San Ace 9LGタイプ

業界トップクラス\*の高風量を実現した、120mm角38mm厚の長寿命ファンです。期待寿命は180,000時間（約20年間）で、携帯電話の基地局、通信装置、太陽光発電用パワーコンディショナなど、長期間の無保守運転が必要とされる機器の冷却に最適です。



### SANUPS 常時インバータ給電方式UPS

#### ● SANUPS A11J

アジア・欧州市場向けに開発した、三相4線・入力電圧AC400V系の無停電電源装置です。停電や電圧低下が起きても無瞬断で電力を供給できます。

### SANUPS 周辺機器

#### ● SANUPS LANインタフェースカード / SANUPS SOFTWARE

新しいインターネットの通信プロトコルであるIPv6（インターネットプロトコルバージョン6）に対応した、SANUPSのネットワーク関連製品です。世界中で推進されているIPv6に対応することで、将来にわたり安定してSANUPS製品をお使いいただけます。



※2014年12月現在。同サイズの産業用ファンとして。当社調べ。

## SANMOTION 2相ステッピングシステム

### ● SANMOTION F2 ステッピングドライバ

モータを低振動・高トルクで駆動させることができるAC電源入力のステッピングドライバです。電源はAC100V～240Vとワイドレンジで、さまざまな国と地域で使えます。また、入力電圧を自動識別し、最適なモータ特性で制御します。工作機械、半導体関連装置、食品関連機器、工業用マシンなどに最適です。



## SANMOTION ACサーボシステム

### ● SANMOTION R 中慣性ACサーボモータ

中慣性ACサーボモータのラインアップに、フランジサイズ275mm角、定格出力37kWタイプを追加しました。最大トルクを向上させ、加速性能は業界トップクラス\*です。また、モータ全長は553mmと業界最小サイズ\*で、質量も従来品と比較し、約20%低減しました。装置の小型化に貢献します。射出成形機、ばね成形機、油圧ポンプシステムなど、高トルク・高加減速が求められる装置に最適です。



## SANMOTION リニアサーボシステム

### ● 小型シリンダリニアサーボモータ

リニアサーボシステムのラインアップに、小型シリンダリニアサーボモータを追加しました。モータの幅寸法は12mmと小型で、定格出力は5.1Nの大推力です。また、高加減速のハイヒットレート運転により、装置を高速化できます。チップマウンタの部品装着ヘッド、半導体製造装置などに最適です。



## SANMOTION サーボモータ用エンコーダ

### ● 小型・高精度バッテリーレスアブソリュートエンコーダ HA035

サーボモータ用エンコーダのラインアップに、小型・高精度バッテリーレスアブソリュートエンコーダを追加しました。寿命部品であるバッテリーを使用しないので、メンテナンスフリーを実現できます。さらに、耐環境性の向上により、従来よりも厳しい環境で使用することができます。当社製サーボモータSANMOTIONシリーズに搭載されます。高い精度が求められる工作機械・射出成形機・ロボットなどの産業用装置、輸送機器に最適です。



## SANMOTION 周辺機器

### ● SANMOTION C 画像処理装置・タッチパネル

モーションコントローラSANMOTION Cの周辺機器として、画像処理装置2機種とタッチパネルを開発しました。SANMOTION Cの周辺機器拡充により、さらに高機能のトータルソリューションを提供します。搬送機器、検査装置などのシステム開発に最適です。



\*2014年12月現在。同サイズのACサーボモータとして。当社調べ。

## 営業概況

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、企業の設備投資が回復基調を維持するなど、緩やかな回復傾向にありました。そのような中で、当社グループの主要な販売市場である工作機械、ロボット、半導体製造装置などの設備産業業界においては、需要は順調に推移しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は45,071百万円(前年同期比43.7%増)となり、連結営業利益は3,573百万円(前年同期比68.8%増)、連結経常利益は3,950百万円(前年同期比67.1%増)、連結四半期純利益は2,848百万円(前年同期比71.9%増)となりました。

受注高は48,264百万円(前年同期比44.1%増)、受注残高は16,981百万円(前年同期比35.8%増)となりました。

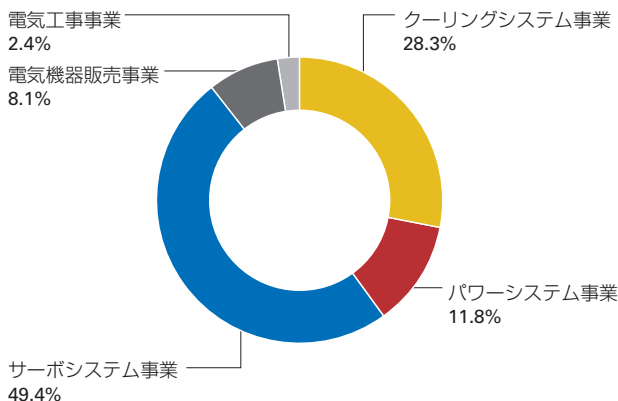
## クーリングシステム事業

クーリングシステム製品「San Ace」は、ファクトリーオートメーション業界向けのサーボアンプや工作機械などの需要が回復傾向にあり、環境業界での太陽光発電用パワーコンディショナ向けの需要も堅調に推移しました。

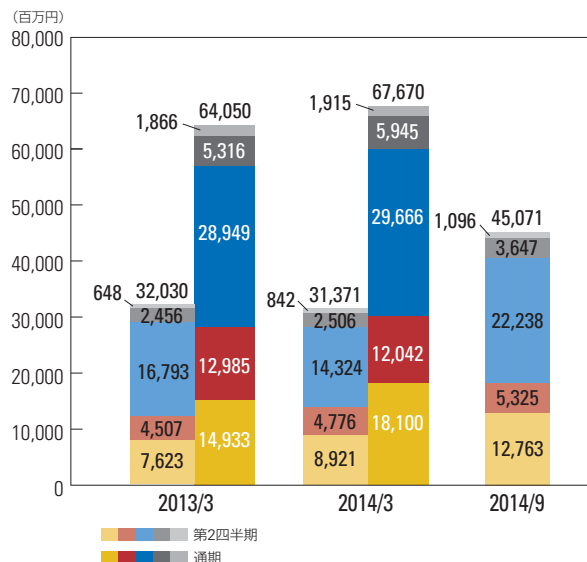
また、従来からの大口市場であるデータセンタ向けサーバや、電源関連の需要が北米、台湾、日本で増加しました。

その結果、売上高は12,763百万円(前年同期比43.1%増)、受注高12,685百万円(前年同期比35.2%増)、受注残高2,734百万円(前年同期比15.2%増)となりました。

売上高構成比率



事業別売上高



## パワーシステム事業

パワーシステム製品「SANUPS」は、エンジン発電機が官公庁向けに、また、無停電電源装置は情報通信分野向けを中心に需要が堅調に推移しました。

太陽光発電用パワーコンディショナは、新製品の投入により低圧連系市場向けの需要が増加しました。

その結果、売上高は5,325百万円（前年同期比11.5%増）、受注高6,665百万円（前年同期比9.2%増）、受注残高3,927百万円（前年同期比15.4%増）となりました。

## サーボシステム事業

サーボシステム製品「SANMOTION」は、中国でのIT関連の設備投資が底堅く推移し、工作機械、マウンタ、一般産業機械向けの需要が増加しました。

また、自動車関連の設備投資も堅調に推移し、ロボット、射出成形機などの需要も増加しました。

その結果、売上高は22,238百万円（前年同期比55.2%増）、受注高22,736百万円（前年同期比57.1%増）、受注残高5,201百万円（前年同期比38.2%増）となりました。

## 電気機器販売事業

産業用電気機器、制御機器および電機材料の販売は、交通、通信、産業機器関連は堅調に推移し、太陽光発電機器とその制御盤関連も依然として旺盛な需要が続いています。

鉄鋼関連事業においては、老朽化した生産設備機器更新の需要が大きく増加しました。また、安定な稼働を保つため、重要設備の予備品などの需要も増加しました。

その結果、売上高は3,647百万円（前年同期比45.5%増）、受注高4,894百万円（前年同期比64.4%増）、受注残高4,261百万円（前年同期比57.8%増）となりました。

## 電気工事業

製鉄プラント設備工事関係は、鉄鋼生産設備の老朽更新工事および、補修工事が計画通り実施されました。

また、太陽光発電設備の機器、工事設計を含む一括施工の需要が一層高まり、前年度の認可済み案件に対する引合が旺盛でした。

その結果、売上高は1,096百万円（前年同期比30.1%増）、受注高1,282百万円（前年同期比131.8%増）、受注残高856百万円（前年同期比231.5%増）となりました。

## トピックス

### 海外グループ拠点の再編

中国（深圳、上海）、台湾、シンガポールのグループ拠点を統合、再編しました。

営業活動、資材調達、修理ビジネスの機能を地域ごとに集約し、より迅速で高品質なサービスを提供します。



### テクニカルセンターの新設

上海、台湾、シンガポール、タイの4拠点にテクニカルセンターを新設しました。

技術サポート、製品開発の支援、現地エンジニアの育成をおこないます。

今後、北米、ヨーロッパ地域での開設も予定しています。



多関節ロボット

### SANYO DENKI PHILIPPINES, INC. 第3工場が本格稼働

SANYO DENKI PHILIPPINES, INC. の第3工場が、2014年5月より稼働を開始しました。

電源装置、ステッピングモータ、ACサーボモータを生産します。

#### 【SANYO DENKI PHILIPPINES, INC. 第3工場概要】

床面積 14,400m<sup>2</sup>

生產品目 電源装置、ステッピングモータ、ACサーボモータ

生産能力 電源装置： 9,300台/月

ステッピングモータ： 185,000台/月

ACサーボモータ： 4,000台/月



第3工場外観



連結 貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

	当第2四半期末 2014年 9月30日現在	前年度末 2014年 3月31日現在	増減額		当第2四半期末 2014年 9月30日現在	前年度末 2014年 3月31日現在	増減額
<b>資産の部</b>				<b>負債の部</b>			
流動資産	56,615	51,959	4,656	流動負債	29,878	26,006	3,872
固定資産	28,438	26,273	2,165	固定負債	7,152	6,406	745
有形固定資産	19,452	18,656	795	負債合計	37,031	32,412	4,618
無形固定資産	515	508	7	<b>純資産の部</b>			
投資その他の資産	8,471	7,108	1,362	株主資本	45,533	44,086	1,446
資産合計	85,053	78,232	6,821	その他の包括利益累計額	2,483	1,727	756
				少数株主持分	6	5	0
				純資産合計	48,022	45,819	2,203
				負債純資産合計	85,053	78,232	6,821

連結 第2四半期損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

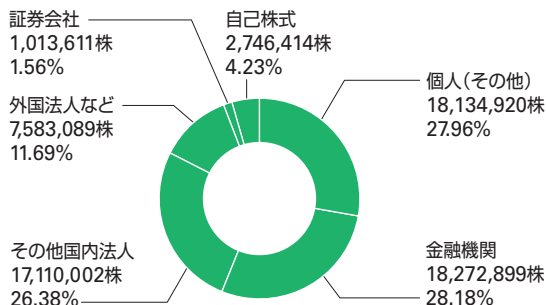
	当第2四半期 2014年4月1日~ 2014年9月30日	前第2四半期 2013年4月1日~ 2013年9月30日	増減額
売上高	45,071	31,371	13,699
売上原価	34,876	24,201	10,675
売上総利益	10,194	7,169	3,024
販売費及び一般管理費	6,621	5,053	1,568
営業利益	3,573	2,116	1,456
営業外収益	441	304	136
営業外費用	64	57	6
経常利益	3,950	2,363	1,587
特別利益	0	1	△ 1
特別損失	1	172	△ 170
税金等調整前四半期純利益	3,949	2,192	1,756
法人税等	1,100	536	564
少数株主損益調整前四半期純利益	2,848	1,656	1,191
少数株主利益	0	△ 0	0
四半期純利益	2,848	1,656	1,191

連結 第2四半期キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)

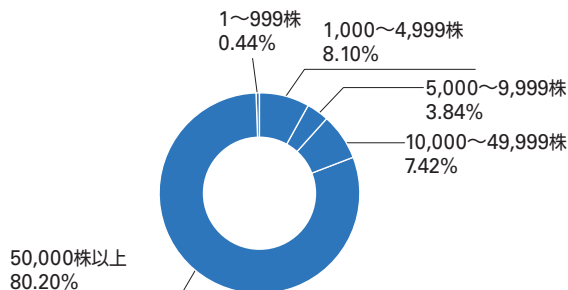
	当第2四半期 2014年4月1日~ 2014年9月30日	前第2四半期 2013年4月1日~ 2013年9月30日	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,638	3,355	282
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,026	△ 1,558	△ 467
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,757	△ 830	△ 926
現金及び現金同等物に係る換算差額	188	755	△ 566
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	43	1,722	△ 1,678
現金及び現金同等物の期首残高	13,719	9,733	3,986
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,763	11,455	2,307

※従来、連結財務諸表の作成にあたっては、海外連結子会社14社の3ヵ月前の財務諸表を使用し、連結会計上必要な調整を行っていましたが、連結財務諸表のより正確な把握を図るために、2015年3月期より海外連結子会社においても当社と同時期の財務諸表を使用する方法に変更しています。このため、当第2四半期実績には、海外連結子会社の2014年1月1日から同3月31日までの3ヵ月間の業績も含まれています。

## ● 所有者別株式分布状況



## ● 所有数別株式分布状況



## 株式総数および株主数

(2014年9月30日現在)

発行可能株式総数	250,000,000株
発行済株式の総数	64,860,935株
当期末株主数	5,137名

## 大株主

(2014年9月30日現在)

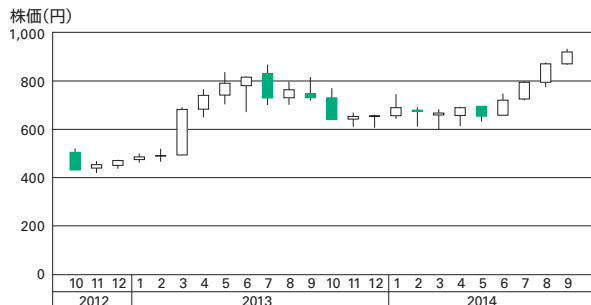
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
協同興業株式会社	9,229	14.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,572	5.5
株式会社みずほ銀行	2,274	3.5
東京海上日動火災保険株式会社	1,913	3.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,900	2.9
山洋開発株式会社	1,594	2.5
日本生命保険相互会社	1,339	2.1
THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A. LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT	1,281	2.0
株式会社エスエヌ興産	990	1.5
株式会社八十二銀行	975	1.5

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

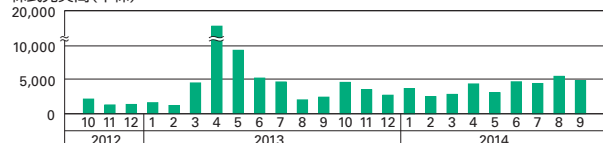
2. 当社は自己株式2,746千株を所有しておりますが、上記の表には記載しておりません。

## 株価・出来高の推移

(2014年9月30日まで)



## 株式売買高(千株)



## 会社概要

(2014年9月30日現在)

会社名	山洋電気株式会社
創業	1927年8月
本社所在地	〒170-8451 東京都豊島区南大塚3-33-1 TEL 03-5927-1020
資本金	99億円
社員数	2,959名（グループ全体）

## 取締役および監査役

(2014年9月30日現在)

※代表取締役	山本 茂生
※取締役	田村 薫
※取締役	児玉 展全
※取締役	松本 吉正
取締役	三宅 雄一郎
取締役	鈴木 徹
常勤監査役	畑中 佐近
常勤監査役	天野 文雄
監査役	小倉 久幸
監査役	山本 武

※印の取締役は、執行役員を兼務

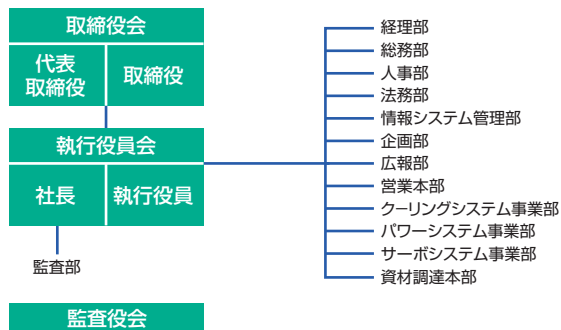
## 執行役員

(2014年9月30日現在)

社長	山本 茂生
専務執行役員	資材調達担当，資材調達本部本部長 田村 薫
専務執行役員	技術開発担当，クーリングシステム事業部事業部長 児玉 展全
常務執行役員	営業部門担当，営業本部本部長，海外販売拠点担当 松本 吉正
常務執行役員	品質管理担当，パワーシステム事業部事業部長 宮田 繁二郎
執行役員	生産担当，生産技術担当 北沢 一幸
執行役員	営業本部副本部長，パワーシステムビジネス担当 小泉 泰之
執行役員	管理部門担当，企画部部长，経理部部长 田母神 観一郎
執行役員	上田事業所所長，山洋電気テクノサービス株式会社代表取締役社長 北村 恵一
執行役員	サーボシステム事業部事業部長 馬場 俊彦

## 組織図

(2014年9月30日現在)



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年4月1日から起算し3ヶ月以内
期末配当受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当受領株主確定日	毎年9月30日
公告の方法	電子公告の方法によりおこないます。 (やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載しておこないます。)
株主名簿管理人	東京都中央区日本橋茅場町1-2-4 日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区日本橋茅場町1-2-4 日本証券代行株式会社 本店
お問合せ先	〒168-8620 東京都杉並区和泉2-8-4 日本証券代行株式会社 代理人部 電話 0120-707-843 (フリーダイヤル)

### ●各種手続のご連絡先

- ・未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人へご連絡ください。
- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定など証券会社をご利用の株主さまは、お取引の証券会社へご連絡ください。

※証券会社をご利用でない株主さまへ

特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社へご連絡ください。

旧山洋工業株式会社の株主さまは、特別口座の口座管理機関である

東京証券代行株式会社〔電話 0120-49-7009 (フリーダイヤル)〕へご連絡ください。

特別口座での手続用紙のご請求はインターネットでも受け付けております。

ホームページアドレス

《日本証券代行》<http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

《東京証券代行》<http://www.tosyodai.co.jp/holder/listed/procedure/index.html>

(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)

当社「IR情報」ホームページアドレス

<http://www.sanyodenki.co.jp/ir/index.html>

本ビジネスレポートには、業績予想などに関する記述が含まれておりますが、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 山洋電気株式会社

本社 〒170-8451 東京都豊島区南大塚3-33-1

電話 (03) 5927 1020

ホームページ <http://www.sanyodenki.co.jp>